

題材名 目指そう賢い消費者

第3学年「C消費生活・環境」C(1)ア(ア)(1),イ

1 題材の目標

- (1) 購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性、売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解しているとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。
- (2) 物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につける。
- (3) よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。

2 題材について

事前に取ったアンケートの結果によると、3年生の約88%がオンラインゲームを、約53%がネットショッピングを利用している。そのため、様々な問題やトラブルに直面する可能性も増えていくと考えられる。自分の消費行動について問題を見いだして課題を設定し、金銭の管理と購入について知識及び技能を身に付け、物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について工夫できるようにする。

3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ・売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解しているとともに、物資、サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 	物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

4 指導と評価の計画（全5時間）

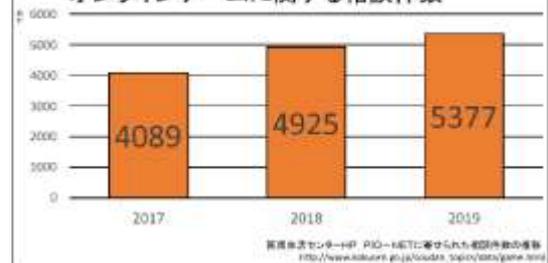
時間	○ねらい ・学習活動	評価規準・評価方法		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 (本時)	○消費者被害の背景について理解し、自分の消費生活の課題を設定することができる。 ・アンケートやデータから、消費者被害について考える。 ・自分の消費者生活の課題を設定する。	①消費者被害の背景について理解している。 【ワークシート】	題材全体を貫く課題 ①物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定している。 【ポートフォリオ、ワークシート】	
	ポイント 2	目指せ！賢い消費者！		

2	<p>○多様化した購入方法や支払方法について理解し、物資・サービスの選択・購入について考え、工夫している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無店舗販売の利点と問題点、支払いによる三者間契約の利点と問題点について発表し合う。 ・〇〇家の家計について生活に必要な金銭の流れを把握、調整し発表し合う。 	<p>②購入方法や支払方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。</p> <p><指導に生かす評価> 【ワークシート・ペーパーテスト】</p>		<p>①金銭の管理と購入について課題の解決に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【ワークシート、ポートフォリオ・行動観察】</p>
3	<p>○売買契約の仕組み、消費者被害の対応について理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時間目のアンケートを活用し、売買契約の仕組みについて事例を用いて考える。 ・ロールプレイを用いて消費者被害の対応について考え発表する。 	<p>③売買契約の仕組み、消費者被害の対応について理解している。</p> <p><指導に生かす評価> 【ワークシート・ペーパーテスト】</p>	<p>②物資・サービスの選択・購入について考え、工夫している。</p> <p>【ワークシート、行動観察、ペーパーテスト】</p>	<p>②金銭の管理と購入について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。</p> <p>【ワークシート、ポートフォリオ】</p>
4	<p>○物資・サービスの選択に必要な情報を適切に収集・整理し、情報を活用して購入について考え、工夫することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スニーカーの購入について情報を収集し意見発表を行う。 	<p>④物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理について理解しているとともに適切にできる。</p> <p><記録に残す評価> 【ワークシート】</p>	<p>④物資・サービスの購入についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。</p> <p>【ワークシート、行動観察】</p>	
5	<p>○賢い消費者になるための方法を考え工夫することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スニーカーの購入計画について相互評価をする。 ・家庭実践のための購入計画を立てる。 ・賢い消費者になるための方法をまとめる。 		<p>③物資・サービスの購入について実践を評価したり、改善したりしている。</p> <p>【家庭実践レポート、ポートフォリオ、ワークシート】</p>	<p>③よりよい消費生活の実現に向けて、金銭の管理と購入について工夫し創造し実践しようとしている。</p> <p>【ワークシート、ポートフォリオ】</p>

3年生の買い物失敗例

- ・本当は必要のないものを勢いで買ってしまった。
- ・手元に届いたら、イメージと違った。
- ・壊れている物が届いた。
- ・購入してから、もっと安い値段で売っている店を発見してしまい、後悔した。

オンラインゲームに関する相談件数

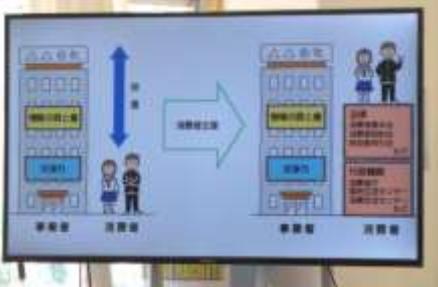
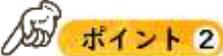


5 学習指導の様子

(1)本時の目標

- ・消費者被害の背景について理解し、自分の消費生活の課題を設定することができる。

(2)展開

	生徒の学習活動	学習支援のポイント	備考・評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○事前アンケートの結果を知る。 ・気付いたことを発表する。 ○本時のめあてを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前アンケートの結果を提示し、問題を見いだせるようにする。 	PP
自分の消費生活を振り返り、課題を設定しよう			
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○消費者被害の背景について考え、まとめる。 ・どのような場面で消費者被害が起きているのか考える。 ・なぜ消費者被害が起きるのか考え、自分に起こりうる被害についてワークシートに記入し、全体で共有する。 ・消費者被害の背景には、消費者と事業者の間に情報量などの大きな格差があることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果と合わせて考えるよう助言する。 ・中学生のスマホ・インターネット利用率・利用内容比較のグラフ、オンラインゲームに関する相談件数のグラフを提示し、インターネットトラブルが他人事ではないことに気づくようにする。 ・PIO-NET に寄せられた消費者被害の実際について伝える。 ・考えを理由とともに記入するように助言する。 ・事前アンケートや提示したグラフ、被害の例から考えられるよう助言する。 ・消費者と事業者の間には、情報量などの大きな格差があることについて具体例を挙げ、ネットの普及やキャッシュレスの進行により、目に見えないところで被害に巻き込まれやすいこと、中学生も被害者になりやすいことに気付かせる。 	【知識・技能】 ワークシート
			
	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の消費生活の問題点や消費者被害の現状から課題を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材を貫く課題について確認をする。 	
目指せ！賢い消費者！			
	<ul style="list-style-type: none"> ・賢い消費者になるために必要なこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の消費生活を振り返って問題 	

	<p>を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の問題や学んだことから解決したい課題を見付け、どんな賢い消費者になりたいのか理由とともにポートフォリオに記入し発表する。 	<p>だと思ふところを確認させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの消費生活についての経験やアンケートをもとに考えるように助言する。 「持続可能な社会の構築」の見方・考え方の視点について触れる。 	<p>【思考・判断・表現】 ワークシート ポートフォリオ</p>
まとめ	<p>○本時の学習について振り返り、今後の学習について確認をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 賢い消費者になるために、どんなことをこの題材で学んでいけばよいのか挙げさせて整理し、今後の学習について見通しをもたせ、課題解決への意欲につなげるようにする。 	

6 事前アンケートについて

生徒の消費生活の現状に「ポイント①」のため、題材を学習する前に行った。自分で自由に使えるスマートフォンやタブレットの有無、買い物の現状やネットショッピング等についてアンケートを行うとともに、小学校での消費生活の学習内容についても記入させ、学んだことを生かしたり、関連付けたりしながら題材を学習できるようにした。

7 評価について

「思考・判断・表現①」について、評価規準より、ワークシートの自分の消費生活の問題点の記述やポートフォリオの自分の課題と課題設定の理由から以下の生徒は「おおむね満足できる」状況(B)と判断した。

ワークシート

4. 自分の消費生活を振り返って問題だと思ふところを書き出そう。

・衝動買いかられて、物を買ってしまふ。
・同じようなものをいくつも買っている。

ポートフォリオ

自分の課題

物を買う前に、よく考えてから買う。

課題設定の理由: 考えなしに物を買ってしまふ、後悔することあるから。

評価規準		評価方法	十分満足できる状況 (A)	おおむね満足できる状況 (B)	努力を要する状況 (C)と判断した生徒に対する手立て
思・判・表①	物資・サービスの購入について問題を見だして課題を設定している。	ポートフォリオ ワークシート	自分の消費生活やアンケート、小学校の実践や消費者被害の実態から賢い消費者になるための問題を見だして課題を設定している。	自分の消費生活やアンケート、小学校の実践から賢い消費者になるための問題を見だして課題を設定している。	アンケートの結果や自分の消費生活、消費者被害の実態から問題を見だせるよう資料等を提示する。